

---

第 177 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2008 年 7 月 28 日(月) 16 時 30 分~18 時 00 分

場 所: 実習館 2 階総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: 朔 敬 氏

(新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面再建学講座 口腔病理学・教授)

タイトル: 細胞活動のインフラストラクチャとしての間質空間

間質 stroma は種々の細胞が機能を発揮するのを規定している細胞生活の場あるいは細胞社会基盤である。間質空間のなかで大きな容積をしめるのは水分子と細胞外基質 extracellular matrix (ECM) である。ECM はその細胞膜受容体あるいは各種生理活性因子を介して実質細胞の増殖と分化を制御しているが、ECM は実質・間質いずれの細胞も産生しうるので、「結合組織すなわち間質」というわけではない。ECM のうちでも実質細胞がじかに接するのが基底膜で、基底膜成分のうちもっとも巨大な分子がヘパラン硫酸プロテオグリカンのパールカンである。パールカンを軸に間質概念を口腔の生理・病理的環境などで検討してきた概要を紹介したい。

担当: 硬組織疾患制御再建学講座 小澤 英 浩